

2026年度日系社会研修 コース概要

No	29
所管センター	横浜
分野	日本文化
研修コース名	ポップカルチャーを通じた日系社会活性化
受入人数	8
受入時期	下半期
来日日	2026年11月11日（水）
帰国日	2026年12月10日（木）
提案団体	公益財団法人海外日系人協会
提案団体ウェブサイトアドレス	https://www.jadesas.or.jp/
研修員必要資格	【必須資格】 ・このコースで習得した内容を日系団体や日系コミュニティの活性化のためのイベントの企画・実施に活かす意欲を持つ者 ・日本のポップカルチャーに関する基礎的知識を有する者 ・地域や日系社会のリーダーとして、ポップカルチャー等日本文化イベント運営に携わった経験のある者
研修員に必要な実務経験年数	実務経験3年以上
研修使用言語	日本語、スペイン語
日本語能力（JLPT目安）	N4
英語能力	不問
研修目標	研修員が、ポップカルチャーに関する知識およびポップカルチャーを活用した地域活性化、組織運営及び人材育成等の方法を習得する。
期待される成果（習得する技術）	1. ポップカルチャーと日本の伝統文化の接点を理解し、ポップカルチャー及び日本文化に関する知識を深化させる。 2. ポップカルチャーを活用したなどコミュニティ活動への参加者増に資するアイデアを考察する。 3. 持続可能な日系団体運営のための基礎的な知識を習得する。 4. 研修員が、帰国後の具体的な実践計画を作成する。
研修計画（内容）	<ポップカルチャー・日本文化に関する知識> 【講義】 ポップカルチャー論／【視察】 ポップカルチャー関連施設、マンガ・アニメ制作現場 <ポップカルチャー活用法> 【講義】 イベントの企画運営、教室運営、ポップカルチャーを活用した地域振興／【演習】 ポップカルチャーイベント企画、ポップカルチャーを活用した地域振興企画／【視察】 ポップカルチャー関連イベント、ポップカルチャーを活用した地域振興事例 <団体運営> 【講義】 各国日系団体活動事例（現状と課題）、日本人移住の歴史と日本文化／【演習】 マンガを活用したチームビルディング <実践計画作成> ファシリテーション手法、討議、実践計画作成
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	本研修のテーマであるポップカルチャーは訴求力が高く、等身大の現代日本を伝える有効な手段であることから日本の良き理解者を拡大させる最も効果的なツールの一つであると言える。 また、若い世代の日系社会離れが進む一方で、ポップカルチャーを入り口として日本語や日本文化に興味、関心を持ち日本語を学び始める、あるいは日系団体活動に積極的に参加する若い世代の人材が日系、非日系を問わずおり、日系団体活動の参加者の裾野を広げている。このような者の中には、ポップカルチャーに留まらず日本の伝統文化、習慣、日本的価値観への理解を深め、日本語教師となる者も存在することから、ポップカルチャーには日本文化理解の深化につながるものが期待でき、更に日系社会におけるコミュニティ活動への参加者を増加させ、地域社会活性化に貢献できる人材育成にもつながることが期待される。
応募希望者への特記事項	